

2026年5月11日

各 位

J X 金属株式会社

自己株式の公開買付けおよび転換社債型新株予約権付社債の発行について

J X 金属株式会社（代表取締役社長：林 陽一、以下「当社」）は、本日開催の取締役会において、自己株式の取得およびその具体的な取得方法として自己株式の公開買付け（以下「本公開買付け」）の実施、ならびに転換社債型新株予約権付社債（以下「本新株予約権付社債」）の発行について決議いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、2025年3月19日に東京証券取引所プライム市場に上場して以来、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図る観点から、最適な株主構成のあり方について検討してまいりました。当社の筆頭株主であるENEOSホールディングス株式会社（以下「ENEOS」）については、当社の上場以来、当社普通株式の40%以上を所有していますが、当社としては、資本政策の柔軟性の確保や、資本関係の見直しによる市場からの評価向上を図る観点からENEOSの当社普通株式の所有比率の引き下げについて、当社の重要な経営課題のひとつとして議論を行っていました。また当社は、2025年11月11日付で公表した「2026年3月期 第2四半期 決算説明資料」に記載のとおり、当社の株主により当社普通株式が売却される場合には、当該株式を当社が自己株式として取得することも選択肢のひとつとして検討していく方針としていました。

このような状況の下、当社に対し、ENEOSより、同社が所有する当社普通株式の一部を売却する意向を示されました。当社は、一時的に一定数以上の数量の株式が市場に放出されることによる当社普通株式の流動性および市場価格に与える影響（株価の下落）や、当社の財務状況等を総合的に勘案した上、ENEOSとの協議を経て、以下のとおり本公開買付けを実施することといたしました。

- ・ ENEOSの所有する当社普通株式の一部を取得することを目的に、当社普通株式に対する本公開買付けを開始する。本公開買付けにおける買付け等の価格は、市場価格から10%のディスカウントを行った価格とする。
- ・ 当社は、額面総額2,500億円の本新株予約権付社債を発行し、これによる調達資金を本公開買付けの買付資金に充当する。残額が生じた場合は、当社の成長戦略のコアであるフォーカス事業の主力製品である半導体用スパッタリングターゲットの主要製造設備の増設や結晶材料の増産に向けた設備増強、フォーカス事業向けレアメタル資源の獲得等に充当する。
- ・ 本新株予約権付社債を所有する投資家が本新株予約権付社債の転換権を行使した場合には、当該投資家に対して、当社が本公開買付けにより取得した当社普通株式を交付する。

本件は、当社の1株当たり当期利益（EPS）および自己資本利益率（ROE）等の資本効率の向上にも寄与し、株主の皆様に対する利益還元につながるものと考えております。

以 上

本資料は、本公開買付け及び本新株予約権付社債の発行に際して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。なお、本新株予約権付社債及び当社株式については国内における募集又は売出しは行われません。また、本資料は、米国を含むあらゆる地域における本新株予約権付社債の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて同社債及び同社株式の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において同社債及び同社株式の募集又は販売を行うことはできません。米国において証券の募集又は販売が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成され、発行会社から入手可能な、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報及び財務諸表を含む英文目論見書が用いられます。

<参考>

- ・「[2029年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債及び2031年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ](#)」(2026年5月11日付東証開示文書)
- ・「[自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ](#)」(2026年5月11日付東証開示文書)
- ・「[自己株式取得及びユーロ円CB発行に関する補足説明資料](#)」